

## 議会報告「市民との意見交換会」記録

日 時：平成 31 年 2 月 8 日（金）19 時 00 分～20 時 30 分

場 所：議員協議会室

対象団体：ふるさと創造会議 12 人（宇仁郷まちづくり協議会 5 人、九会地区ふるさと創造会議 4 人、下里地区ふるさと創造会議 3 人）

担 当 班：A 班

### ○第 1 部 議会報告

議案審議報告に対する質疑応答

問：議案第 91 号の一時金支給の対象となる生活困窮世帯の児童は、どれ位あるのか。

答：年間に 50 人を想定している。

問：生活困窮世帯の基準は。

答：教育委員会で行っている小中学校児童への就学援助の対象となっている世帯の児童に、中学校卒業時に支援しようというものです。

問：支給金額 5 万円の試算は。子供によっては私立に行く場合もあるのでは。

答：基本的に公立を想定しており公立私立関係なく 5 万円を支給する。県からも支援があり、合わせると必要な金額になると考えているとのこと。北条高校の協力を得て調べたところ入学金や PTA 会費等で入学時に必要な金額で 5 万円という数字を出した。

### ○第 2 部 意見交換会

テーマ「ふるさと創造会議の現状と課題」

[宇仁郷まちづくり協議会]

- ・ 9 部会と 2 検討委員会でやっている。規制緩和を図りながら新規居住者住宅などへ去年は 4 世帯の方が帰ってこられた、1 ターン U ターンが実現してきている。さらに今年は、4 世帯の方が入居される予定である。
- ・ 高齢者の免許更新に対する支援を検討委員会を作ってやっている。
- ・ こども園の設置は、仕方がない部分はあるが、遠方（5～8 キロ）になる、送迎には自転車の方もありこういったケアも協議会でもやっていかなければならない。
- ・ 課題は、役員の高齢化が進み交代要員がないこと。
- ・ 地域主体型公共交通検討委員会を去年の 7 月に立ち上げ、市とも相談しながら委員会を開催。アンケートを実施し、1 回目は利用者数の把握で、6 町で 78 名の結果。2 回目は行先（行動範囲）の把握で、加西病院や買い物等の結果が出た。これらを委員会で検討。既存の公共交通があり直接乗り入れるのは難しい面がある。
- ・ 昨年より地域交通に取り組んできた。市が提案しながら途中で投げ出してしまった状況になっている。

- ・加西市における、地域における、ふるさと創造会議とは何か。
- ・区長会とふるさと創造会議の存在を議会は、どのように思っているか。
- ・新規居住者住宅区域や地縁者住宅区域の土地の売買価格の問題と上下水道に対する援助があればもっと入居しやすいのではないか。
- ・空き家対策での取り壊しの費用の問題も検討してほしい。

#### [九会地区ふるさと創造会議]

- ・これまでの概略とこれから進めていく事業について
- ・九会地区の豊かな資源を再認識してもらうため、九会のいいところマップを作成し、さらに名所旧跡探訪という冊子を作成し全戸配布した。また、アンケートを実施し、アドバイザーの協力を得ながら九会まちづくり計画を作成し、組織づくりと方向性を打ち出した。2019年は、九会の地域交通と農業の活性化を図るという課題について取り組んでいこうとしている。さらには、豊富な地域資源を活用し、鶉野飛行場跡地の地元としてのアピールと保全活動を行っていく。
- ・これからの問題として地域交通網についてのアンケートを分析し、既存の公共交通の存在との絡みをどうしていくかについて、市も交え議論していく必要がある。
- ・自治会組織（区長会）とふるさと創造会議との違いは何か。
- ・他市の状況を参考にしながら市でも議会でもしっかり考えながらやってほしい。

#### [下里地区ふるさと創造会議]

- ・まずは、やれるところからやっている。山部会を立ち上げた。継続できる事業にしたいため。加西市の土産として美術手ぬぐいを作成した。
- ・素晴らしい山があるので、それを活用し、健康づくりも兼ねて登山はどうかということで、まずはこれまで放置されていた山を整備し、登山道を4ルートを開設した。
- ・市外の方が多く来られている。
- ・親子で楽しもうということで、ブリザードフラワーやハスの実で工作等、年間3回のイベントを開催。行事を開催する中でいろんな人と人のふれあい、つながりをつつていくことを主眼に置いている。
- ・会館等の活動拠点がない。
- ・区長会との連携と行事や事業のすみわけ。
- ・行政の取り組む課題と地域が取り組む課題のすみわけが大切。